

2026年3月期 第1四半期決算説明会

連結決算の概要 事業環境および業績予想

株式会社SCREENホールディングス

代表取締役 取締役社長 (CEO)

後藤 正人

取締役副社長 (CFO)

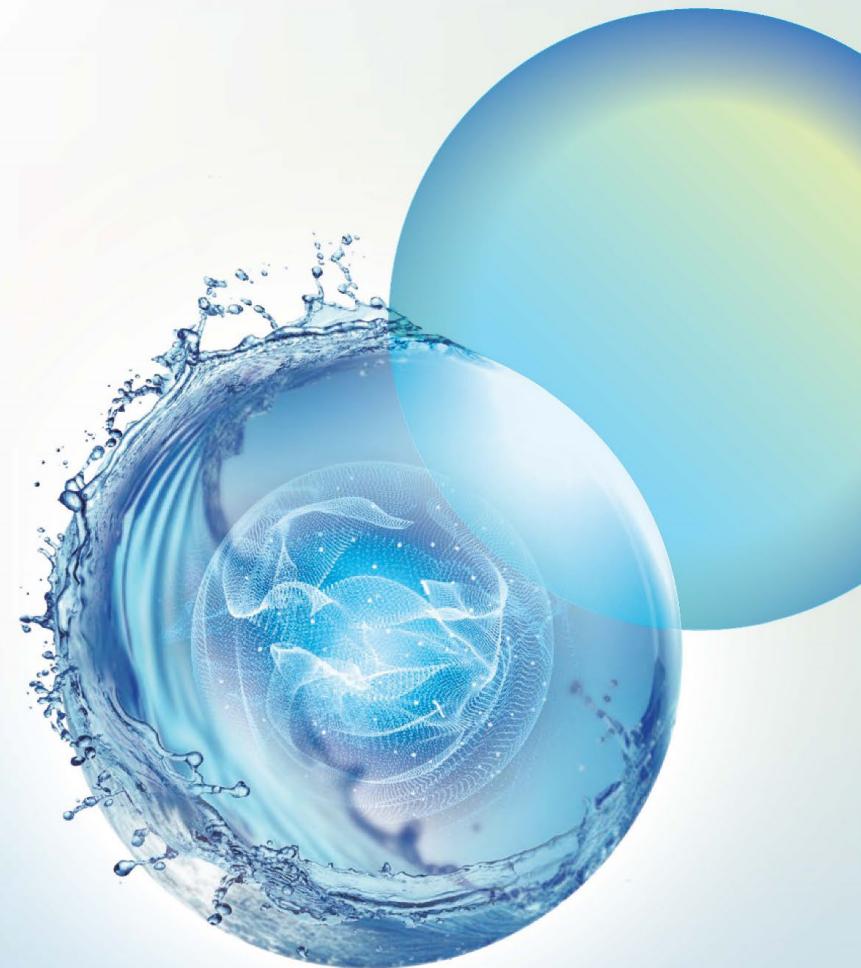
近藤 洋一

2025年7月25日

資料取り扱い上の注意

- 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- 本資料では、例えば、「FY2026/03」と示す場合、2025年4月1日～2026年3月31日の会計期間を表します。

FY2026/03Q1_20250725



SCREEN

Innovation for a Sustainable World

1Q 連結決算の概要・業績予想

2026年3月期 第1四半期決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
取締役副社長 (CFO) 近藤 洋一

2025年7月25日

FY2026/03 1Q連結業績の概要

売上高

1,357

億円

前年同期比

+1.2

% (+15億円)

営業利益

243

億円

前年同期比

-12.2

% (-33億円)

営業利益率

18.0

%

前年同期比

-2.7

pt

前年同期比 増収減益

- ・想定内の着地

SPE：前年同期比減収減益

- ・1Q実績は想定どおり

FT：前年同期比大幅増収増益

- ・ディスプレー市場好調を背景に、順調な滑り出し

自己資本比率は64.5%に

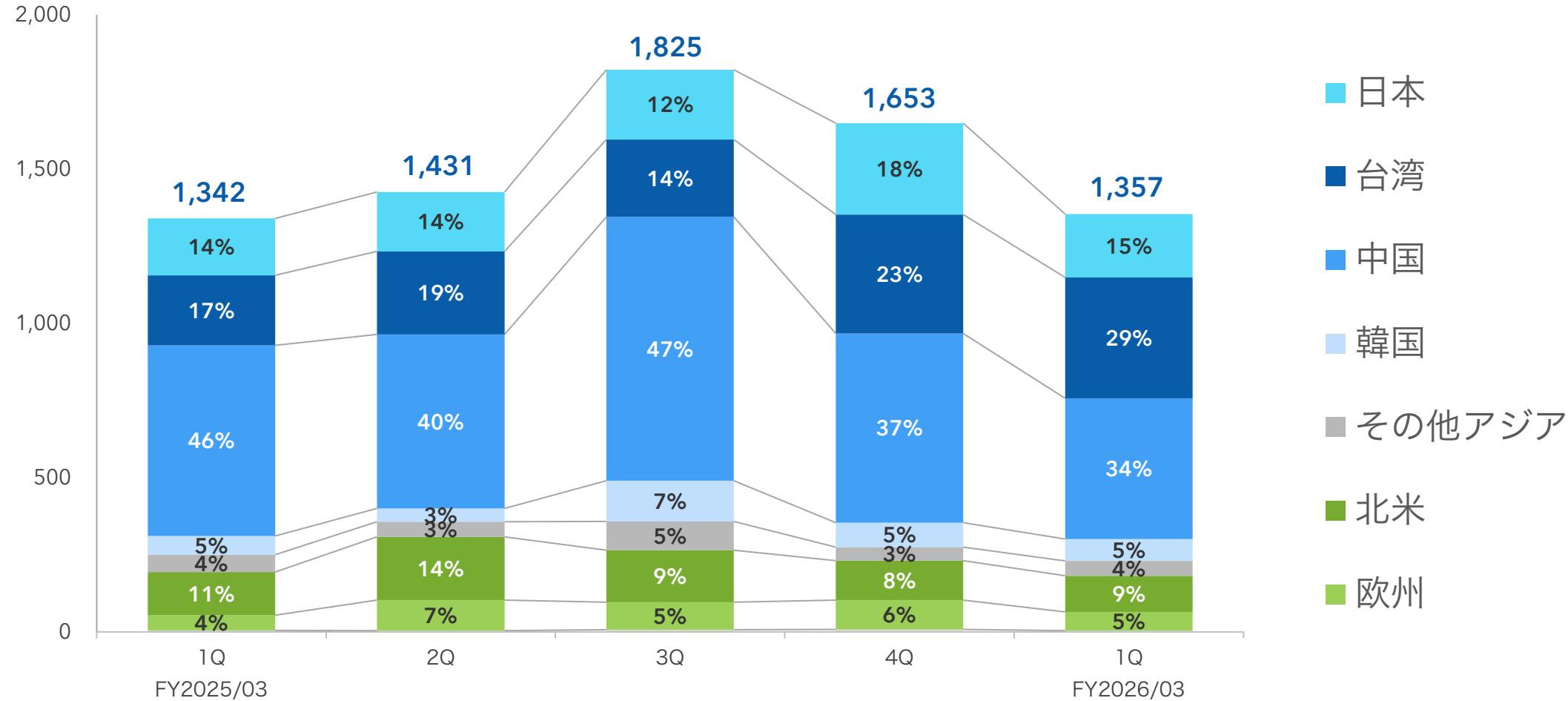
FY2026/03 1Q 連結業績

四半期 (億円)

	FY2025/03					FY2026/03		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前年同期比	
売上高	1,342	1,431	1,825	1,653	6,252	1,357	15	1.2%
営業利益 営業利益率	277 20.7%	304 21.3%	423 23.2%	350 21.2%	1,356 21.7%	243 18.0%	-33	-12.2% -2.7pt
経常利益	278	307	436	359	1,382	245	-33	-11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182	206	306	299	994	166	-15	-8.4%

全社地域別売上高比率

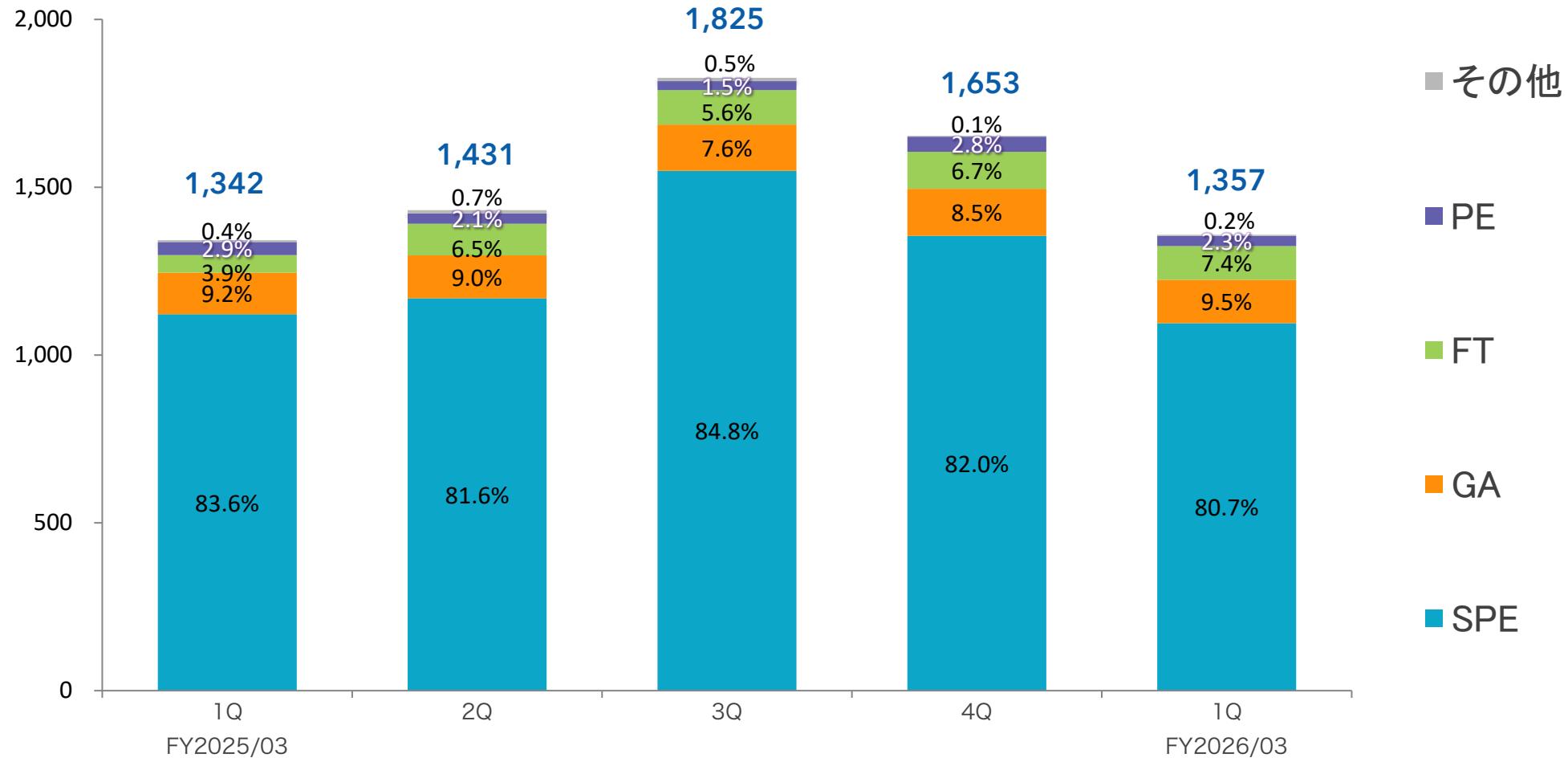
四半期 (億円)



注) 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

セグメント別売上高比率

四半期 (億円)



注) 比率は小数点第2位以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

FY2026/03 1Q 連結業績

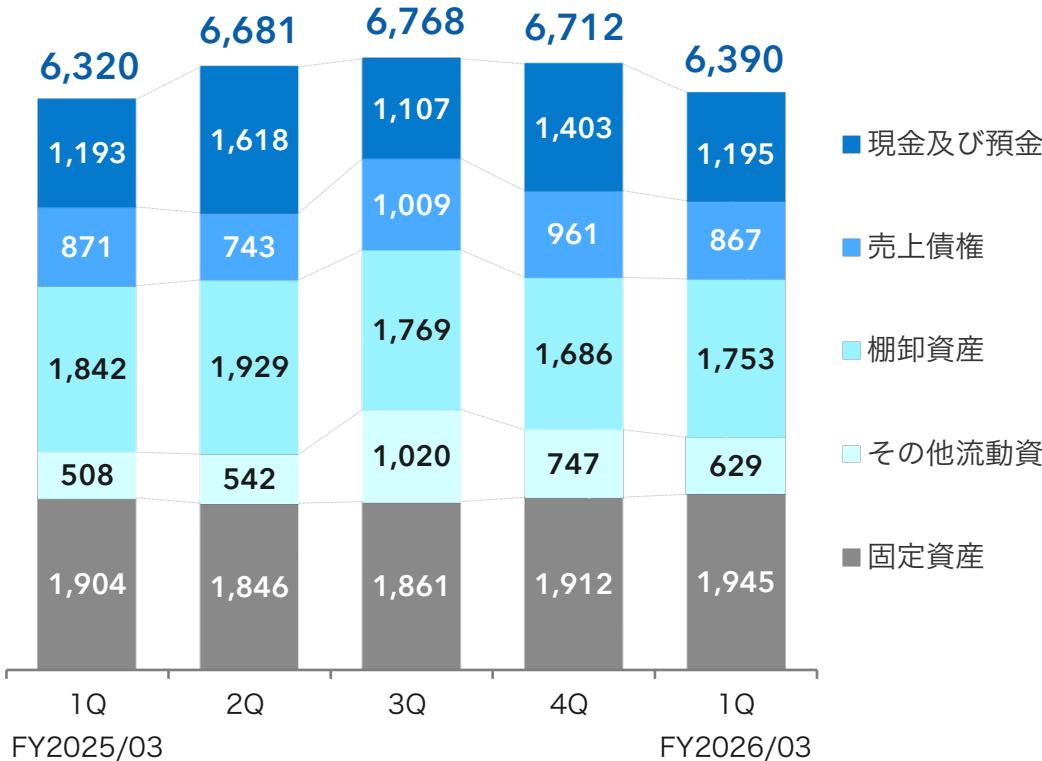
セグメント別

		FY2025/03				FY2026/03			
(億円)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比		
SPE	売上高	1,121	1,168	1,548	1,355	1,095	-26	-2.4%	・減収・減益 ファウンドリー、DRAM向けが減少 中国比率減
	営業利益	290	299	419	360	256	-33	-11.6%	
	営業利益率	25.9%	25.6%	27.1%	26.6%	23.5%		-2.4pt	
GA	売上高	123	128	137	139	129	5	4.3%	・增收・減益 装置売上増加するも為替影響もあり減益
	営業利益	8	12	12	10	5	-2	-30.8%	
	営業利益率	6.6%	9.4%	9.2%	7.2%	4.4%		-2.2pt	
FT	売上高	52	93	102	110	99	47	91.6%	・增收・増益 OLEDを中心に装置売上大幅増加
	営業利益	-2	3	12	16	10	13	- %	
	営業利益率	-5.0%	3.8%	12.4%	15.4%	10.5%		15.5pt	
PE	売上高	39	30	26	45	30	-8	-21.7%	・減収・減益 先端パッケージ向け需要回復に期待
	営業利益	5	1	-1	5	-0	-5	-%	
	営業利益率	12.8%	5.9%	-4.3%	11.0%	-1.0%		-13.8pt	

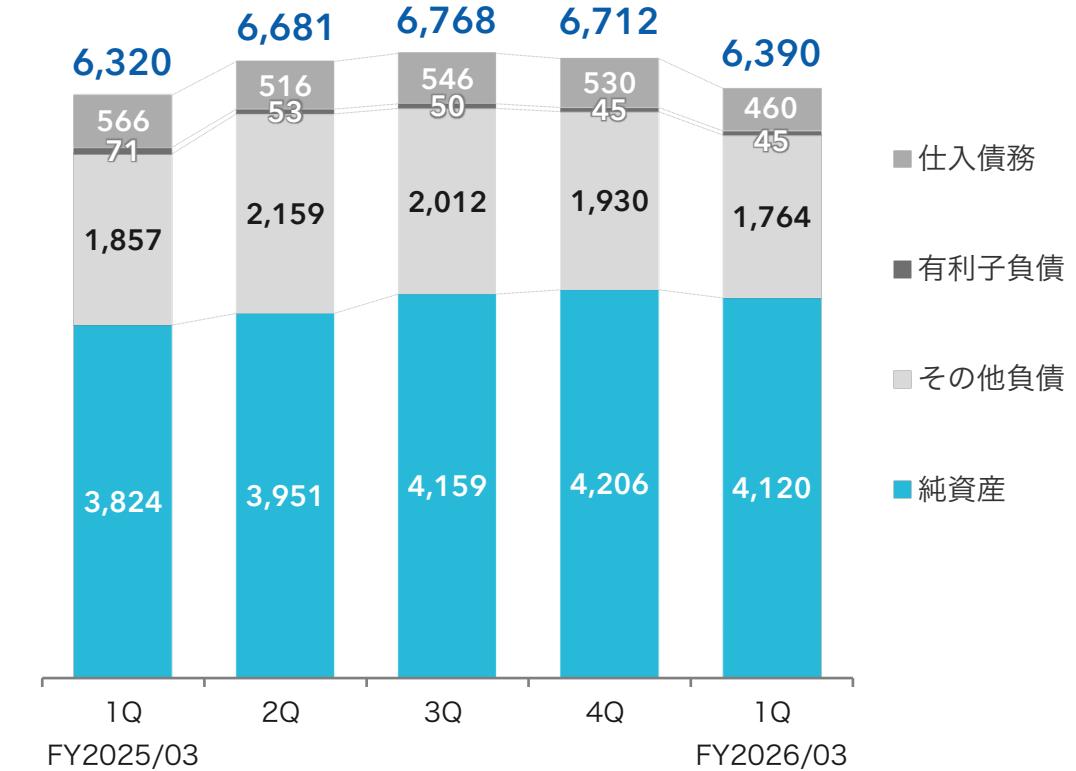
財務状況：連結貸借対照表

総資産圧縮により自己資本比率は64.5%に改善

資産 (億円)



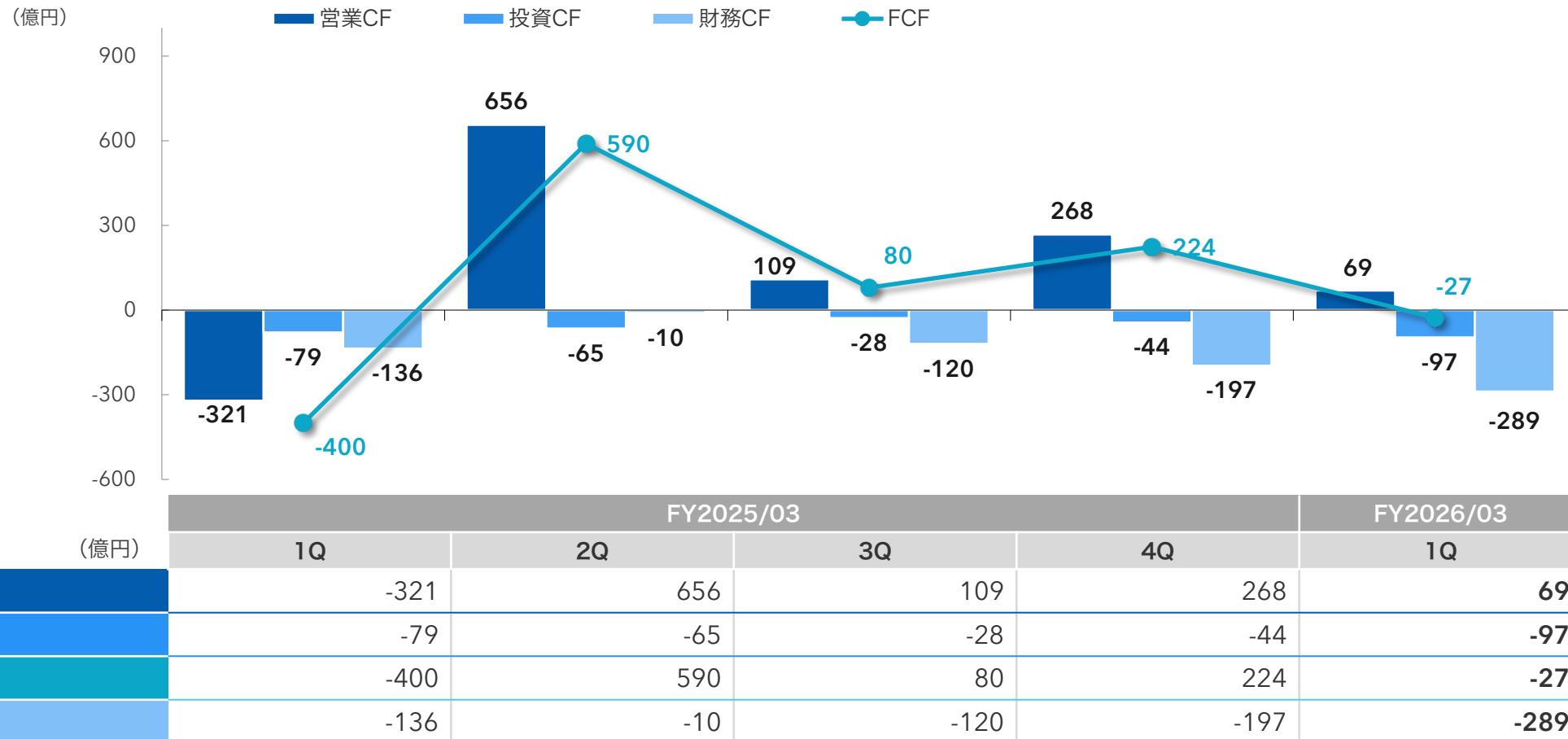
負債および純資産 (億円)



財務状況：連結キャッシュ・フロー

1Q営業CFは、利益積み上げの一方で法人税等の支払いなどにより69億円に留まる

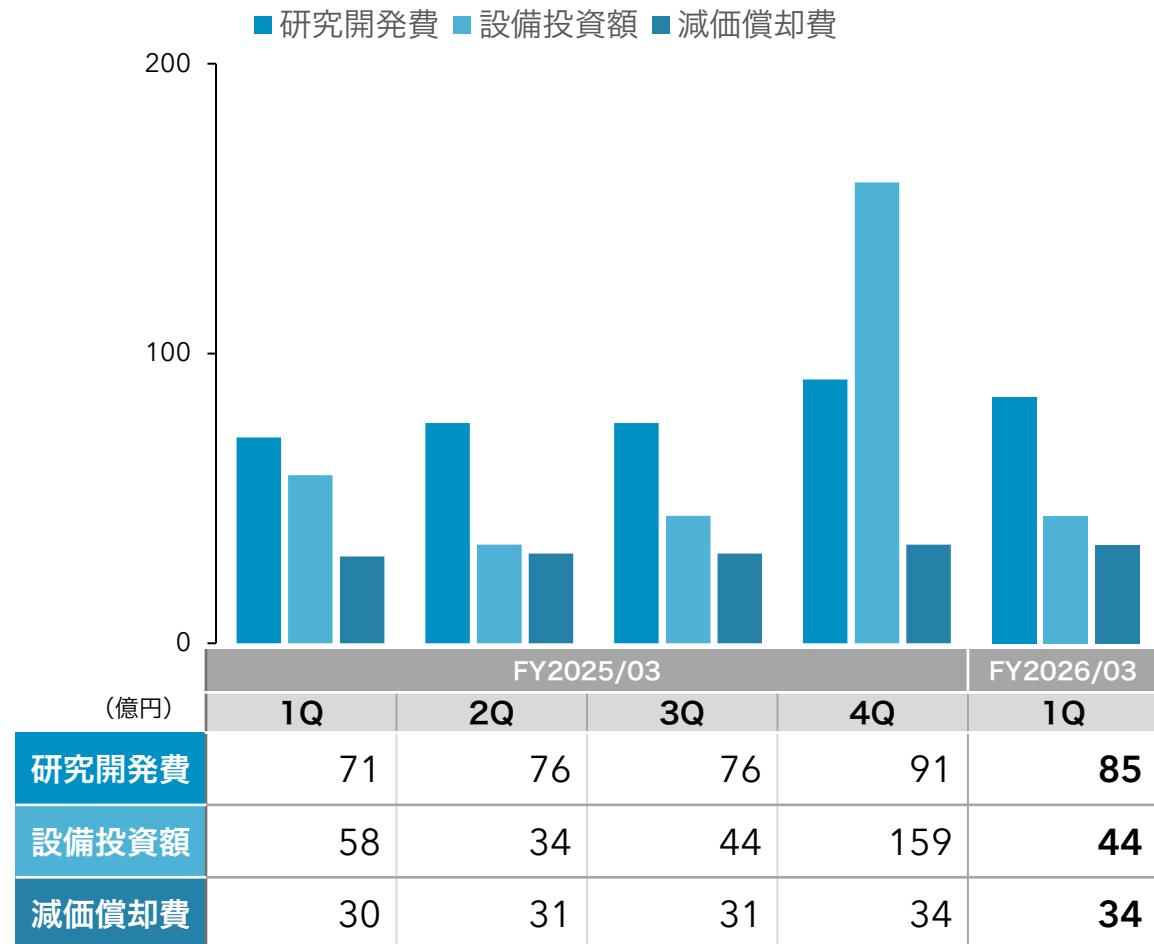
四半期



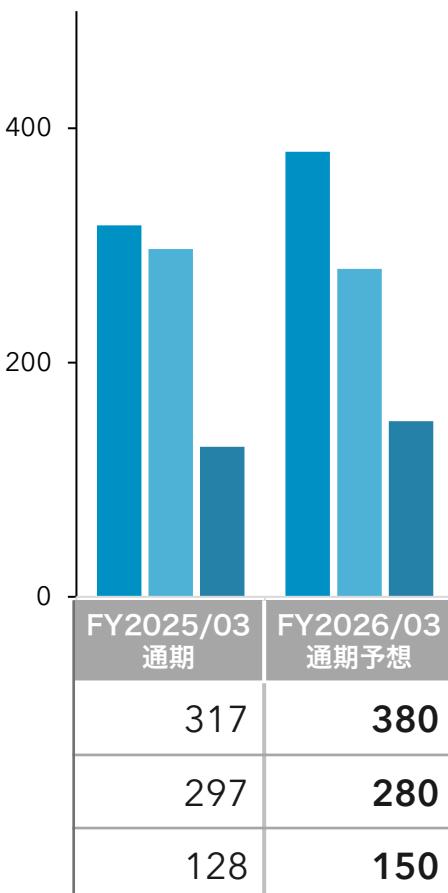
* FCF : フリーキャッシュ・フロー

研究開発費・設備投資額・減価償却費

四半期 (億円)



通期 (億円)



研究開発費

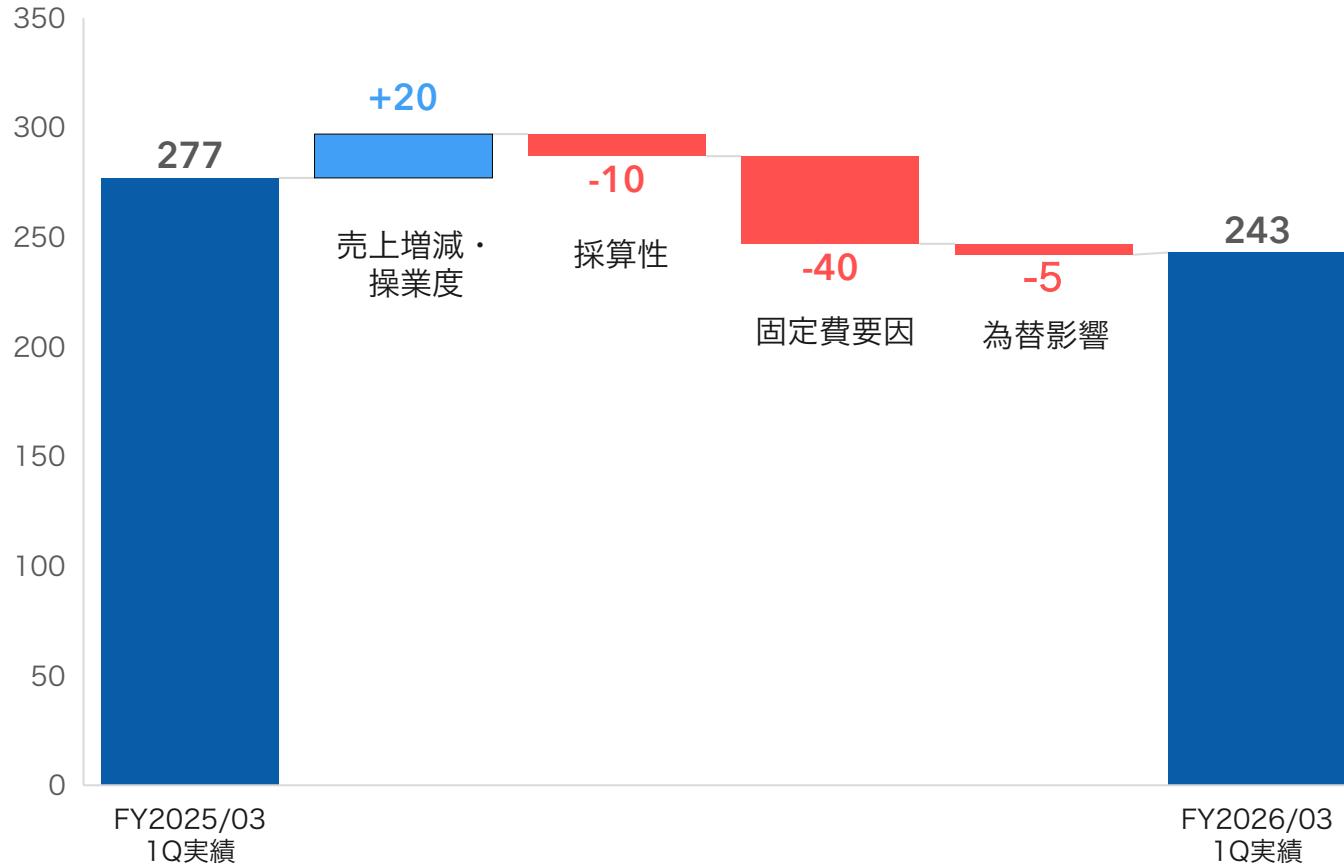
- 1Q : SPEを中心に研究費と人件費は概ね想定内で推移
- 上期・下期 : 同程度のボリューム想定

設備投資額

- 1Q : 研究用、生産用、IT関連設備など想定内で推移

営業利益増減分析

FY2025/03 1Q実績 vs FY2026/03 1Q実績 (億円)



注) 利益要因は、5億円刻みの「約」表記

FY2026/03 業績予想 (2025年7月25日時点)

(億円)	FY2025/03 実績			FY2026/03 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,773	3,478	6,252	2,995	3,215	6,210
営業利益	582	774	1,356	545	625	1,170
営業利益率	21.0%	22.3%	21.7%	18.2%	19.4%	18.8%
経常利益	586	796	1,382	545	625	1,170
親会社株主に帰属する当期純利益	388	606	994	385	495	880
SPE	売上高	2,290	2,904	5,195	2,405	2,615
	営業利益	590	779	1,369	575	635
	営業利益率	25.8%	26.8%	26.4%	23.9%	24.3%
GA	売上高	252	277	530	250	280
	営業利益	20	22	42	10	15
	営業利益率	8.0%	8.2%	8.1%	4.0%	5.4%
FT	売上高	145	212	358	255	200
	営業利益	0	29	30	30	20
	営業利益率	0.6%	13.9%	8.5%	11.8%	10.0%
PE	売上高	69	72	141	70	80
	営業利益	6	3	10	5	5
	営業利益率	9.8%	5.4%	7.5%	7.1%	6.3%
その他および調整	売上高	15	11	27	15	40
	営業利益	-35	-61	-97	-75	-50
						55
						-125

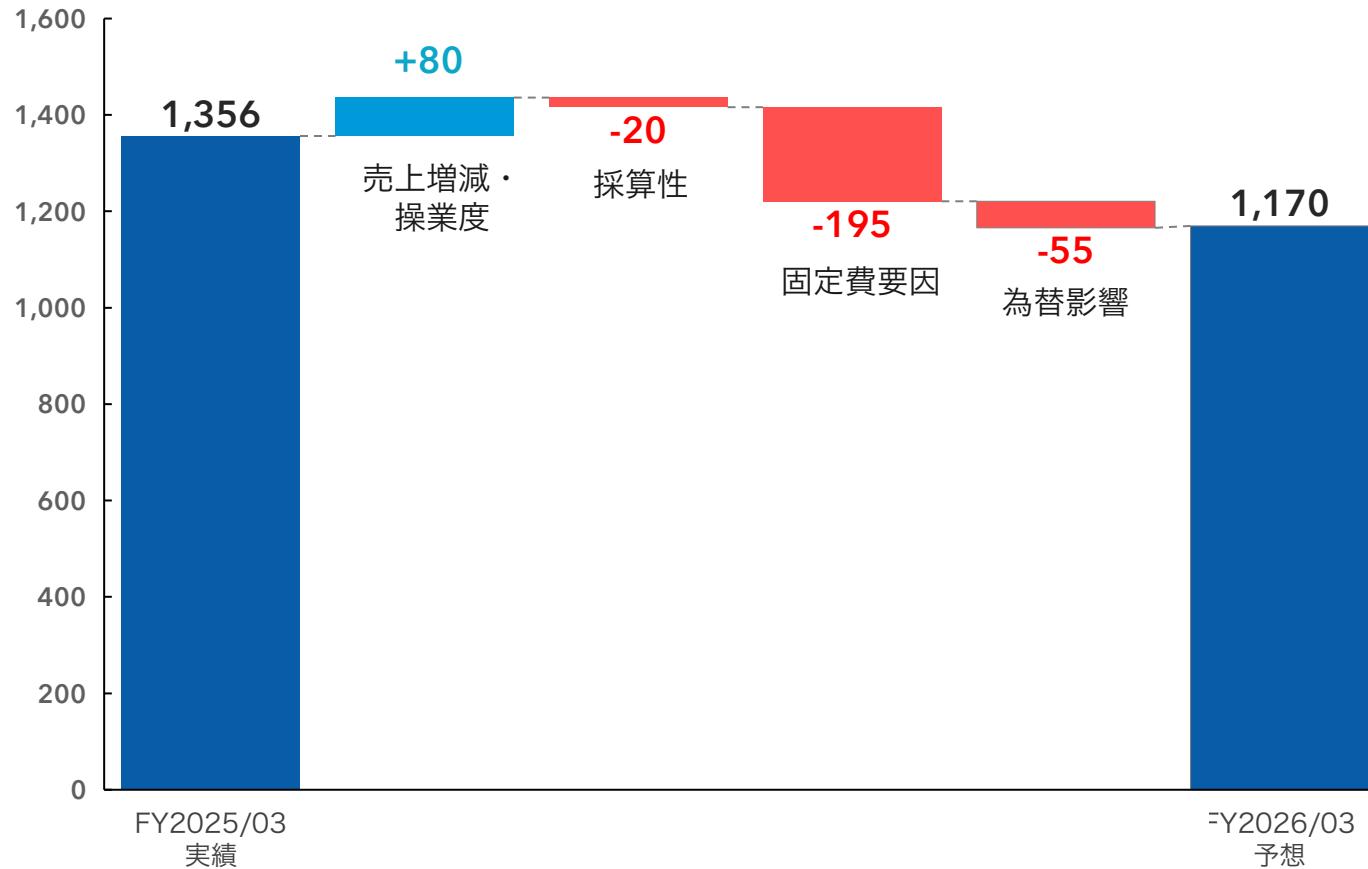
注) FY2026/03 (通期) 想定為替レート>> 1USD=¥135、1EUR=¥150

想定為替感応度 (通期営業利益ベース) >> 対USD : ¥0.9億、対EUR : ¥0.6億

*予想金額は5億円刻みの「約」表記

営業利益増減分析

FY2025/03 実績 vs FY2026/03 予想 (億円)



注) 利益要因は、5億円刻みの「約」表記

売上増減/操業度

FT、GA、PEが貢献

採算性

SPEがマイナスも、FT、GA、PEはプラス

固定費

増加要因はSPEを中心とした成長投資

(研究開発費、人件費、減価償却費など)

為替影響

- ・2025年3月期
1USD=152.78円、1EUR=163.05円
- ・2026年3月期計画レート
1USD=135円、1EUR=150円

配当について

	2025年3月期 実績	2026年3月期（予想）
1株当たり 中間配当	120円	123円
1株当たり 期末配当	188円	157円
合計	308円	280円

注) 新中期経営計画「Value Up Further 2026」では連結配当性向30%以上を株主還元方針として設定

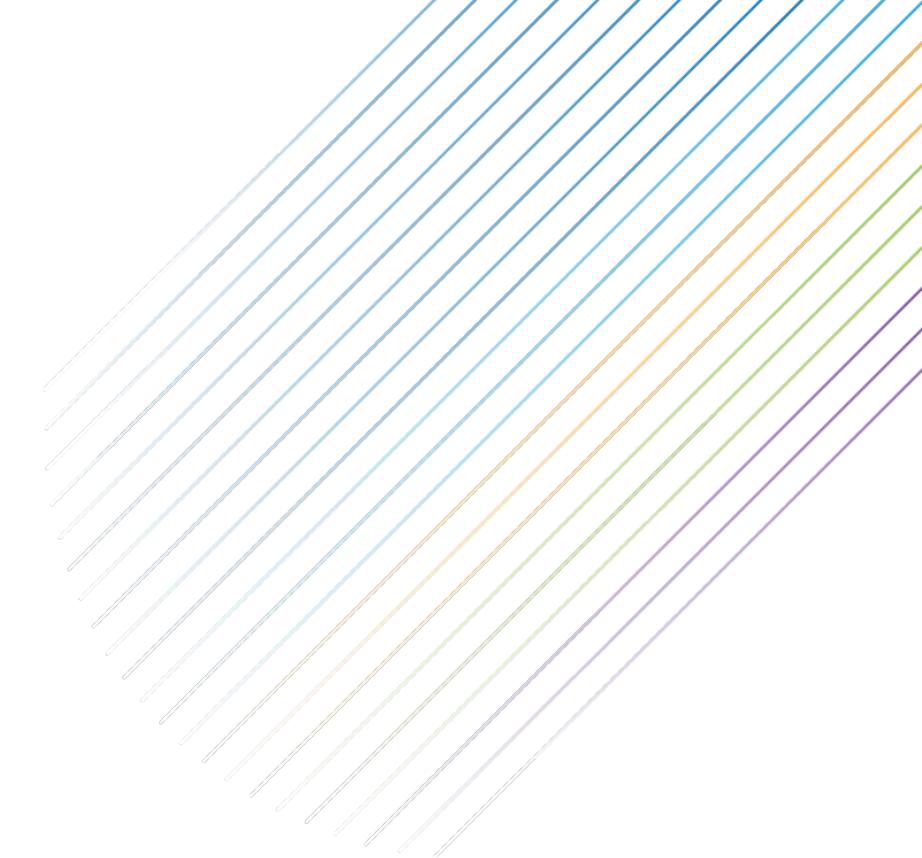
事業環境および業績予想詳細

2026年3月期 第1四半期 決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 (CEO)

後藤 正人

2025年7月25日



FY2026/03 通期業績予想 概要

SPE :

ファウンドリー、メモリーのAI向け最先端投資と、成熟ノードファウンドリーの投資を確実に取り込み、堅調な売上を維持

FT :

活況なディスプレー需要を背景に好調

半導体先端パッケージ領域の売上増加

ウエハー洗浄、PLPコーティング Lemotia、直描露光機 LeVinaなど

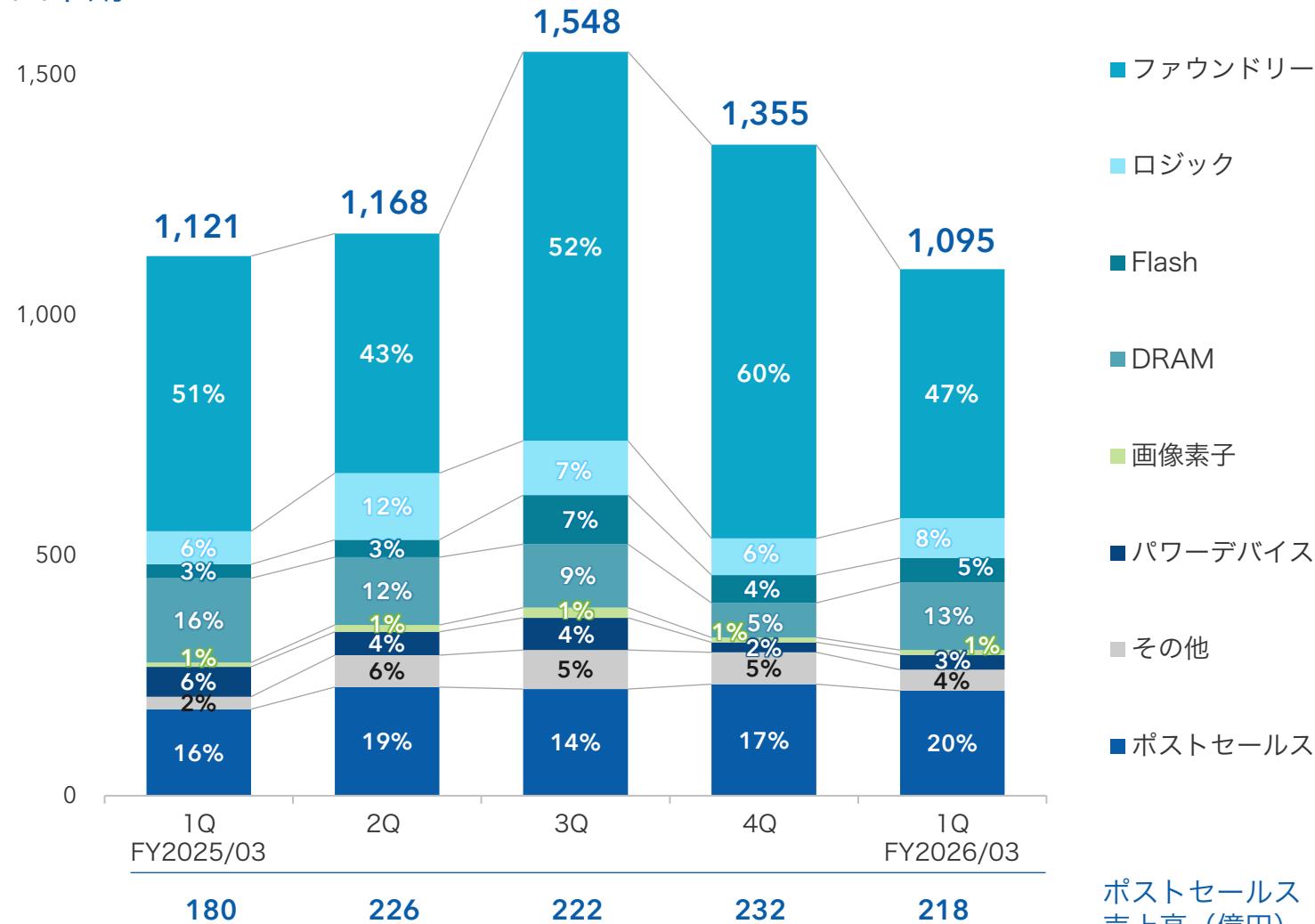
成長投資を着実に実行

市場動向および見通し

- **WFE**：5月予想を維持。CY2025はCY2024と同程度を想定（約\$110B）
→ CY2026は更なる成長を見込む
- **アプリケーション別投資動向**
 - ファウンドリー AI向けを中心とした最先端ノードへの投資モメンタム継続
 - ロジック 計画を慎重に見直し
 - メモリー AI需要に牽引され、HBMやDDR5向け投資が堅調。NANDは層数増に伴う投資がメイン
 - 画像素子 一部計画に遅れ
 - パワーデバイス・その他 産業向け、自動車向け投資弱含み。CY2026年以降の回復を期待
 - アドバンスドパッケージ 先端におけるPLP投資が始動
- **中国市場**：既存ファウンドリーのWFE投資が継続

SPE 新規装置アプリケーション別、ポストセールス売上推移

四半期 (億円)



QoQ
DRAM増加

YoY
ロジック、Flash微増
ロジック増は中国向けが寄与

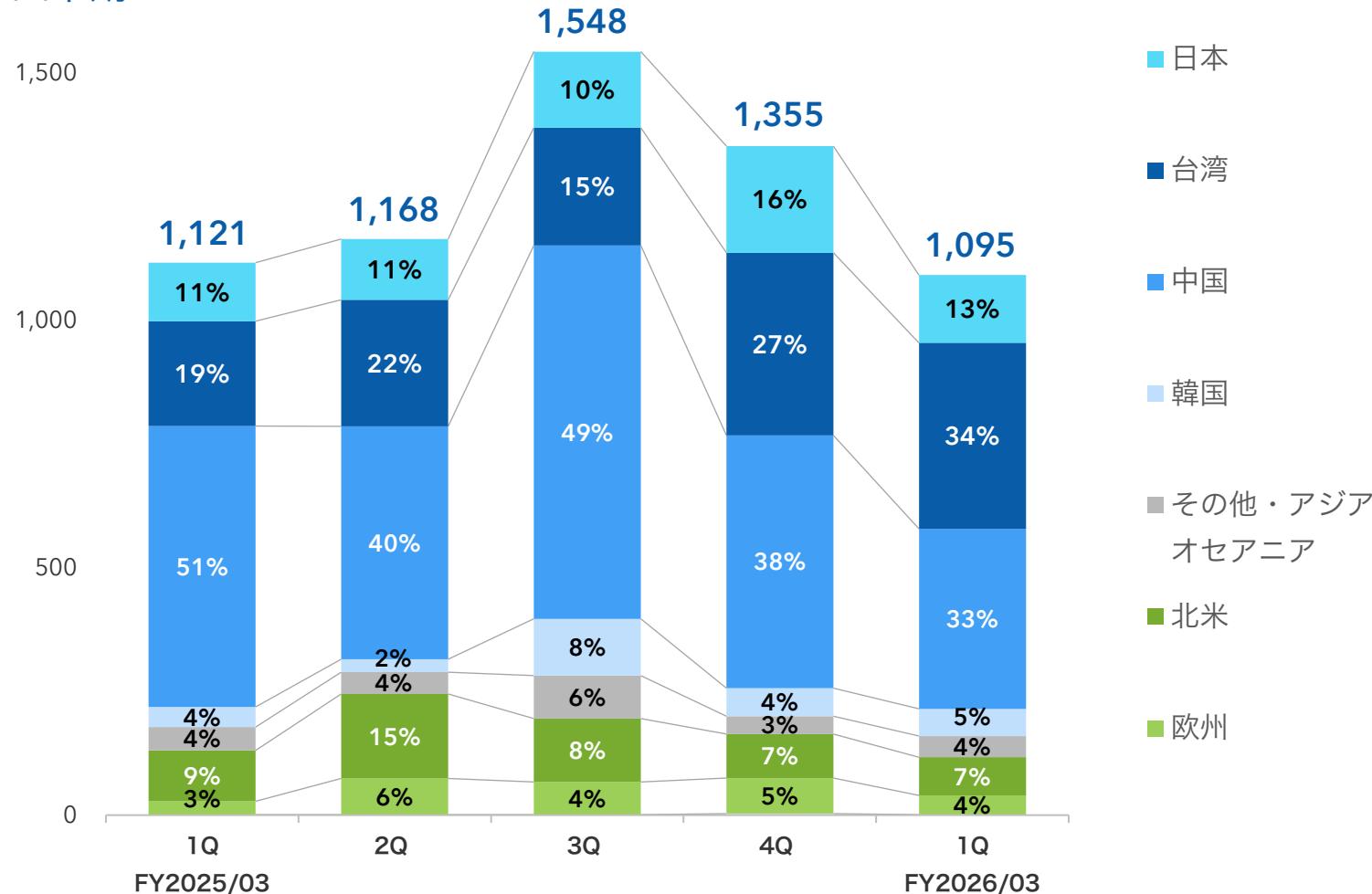
ポストセールス
安定的に推移

ポストセールス
売上高 (億円)

注) 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

SPE 売上高比率 地域別 仕向地ベース

四半期 (億円)



QoQ

台湾向け微増

YoY

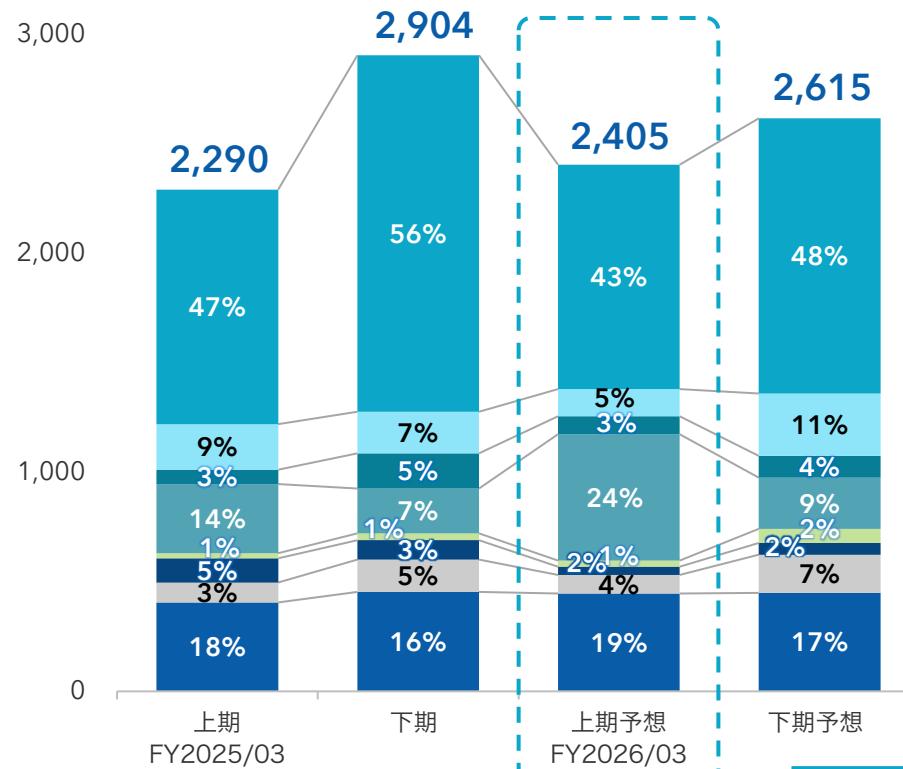
台湾向け大きく増加
日本向け微増

注) 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

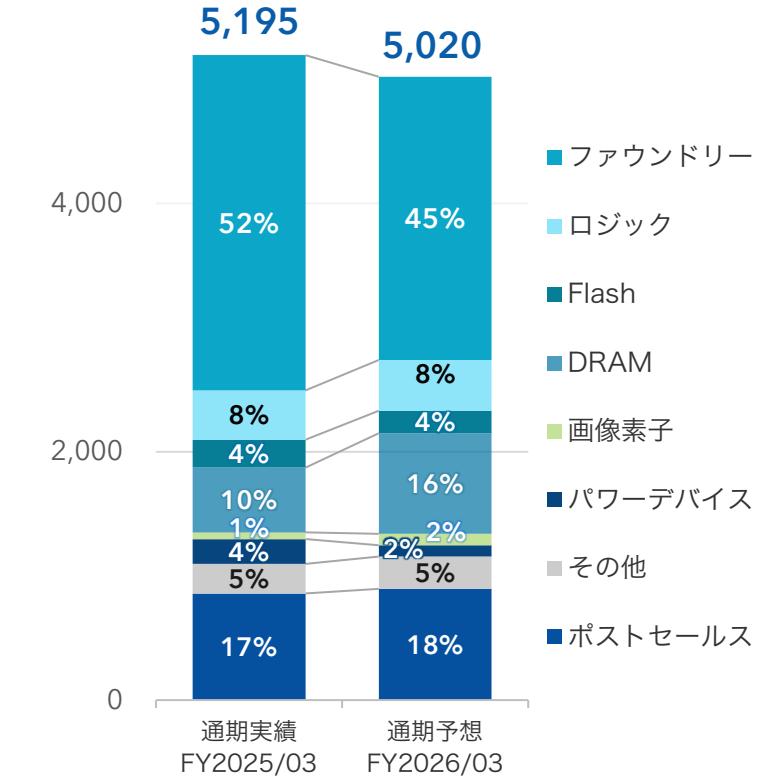
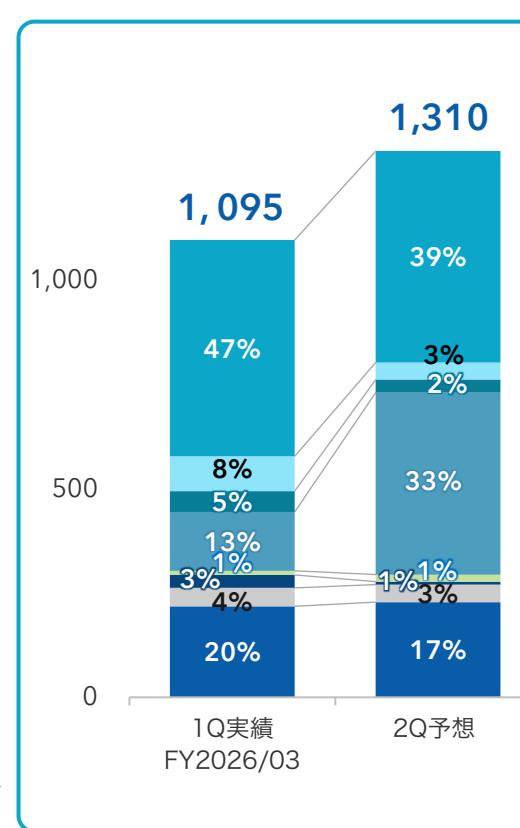
SPE 売上高比率予想 新規装置アプリケーション別、およびポストセールス

- › 1Q実績 vs 2Q予想 : DRAMが大きく増
- › 上期予想 vs 下期予想 : ロジック増は新規顧客
- › 前期通期実績 vs 今期通期予想 : DRAM増

半期 (億円)



通期 (億円)

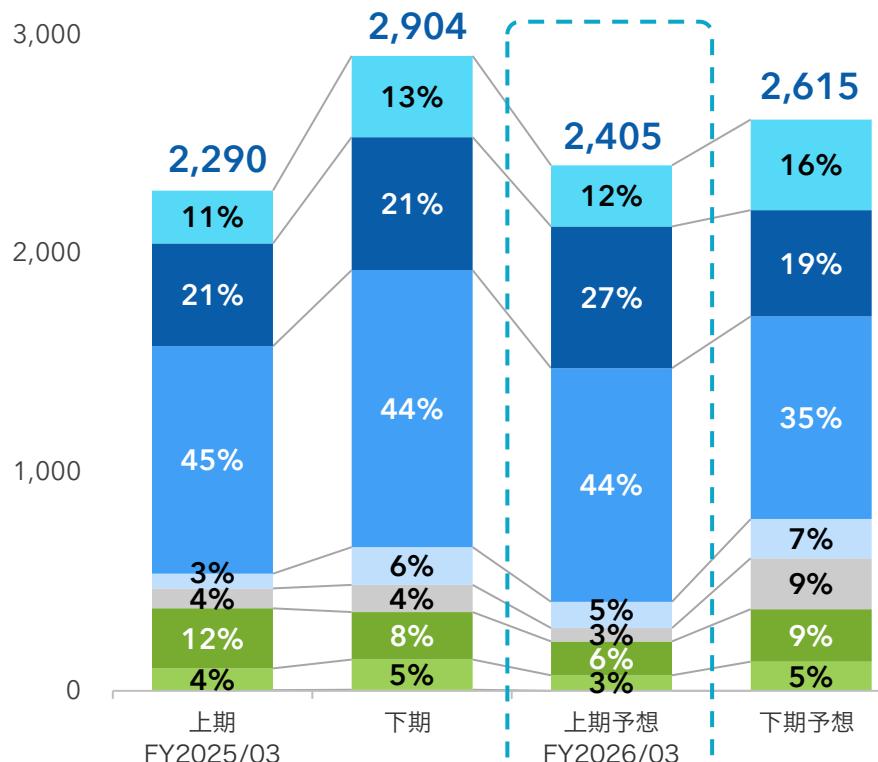


注) 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

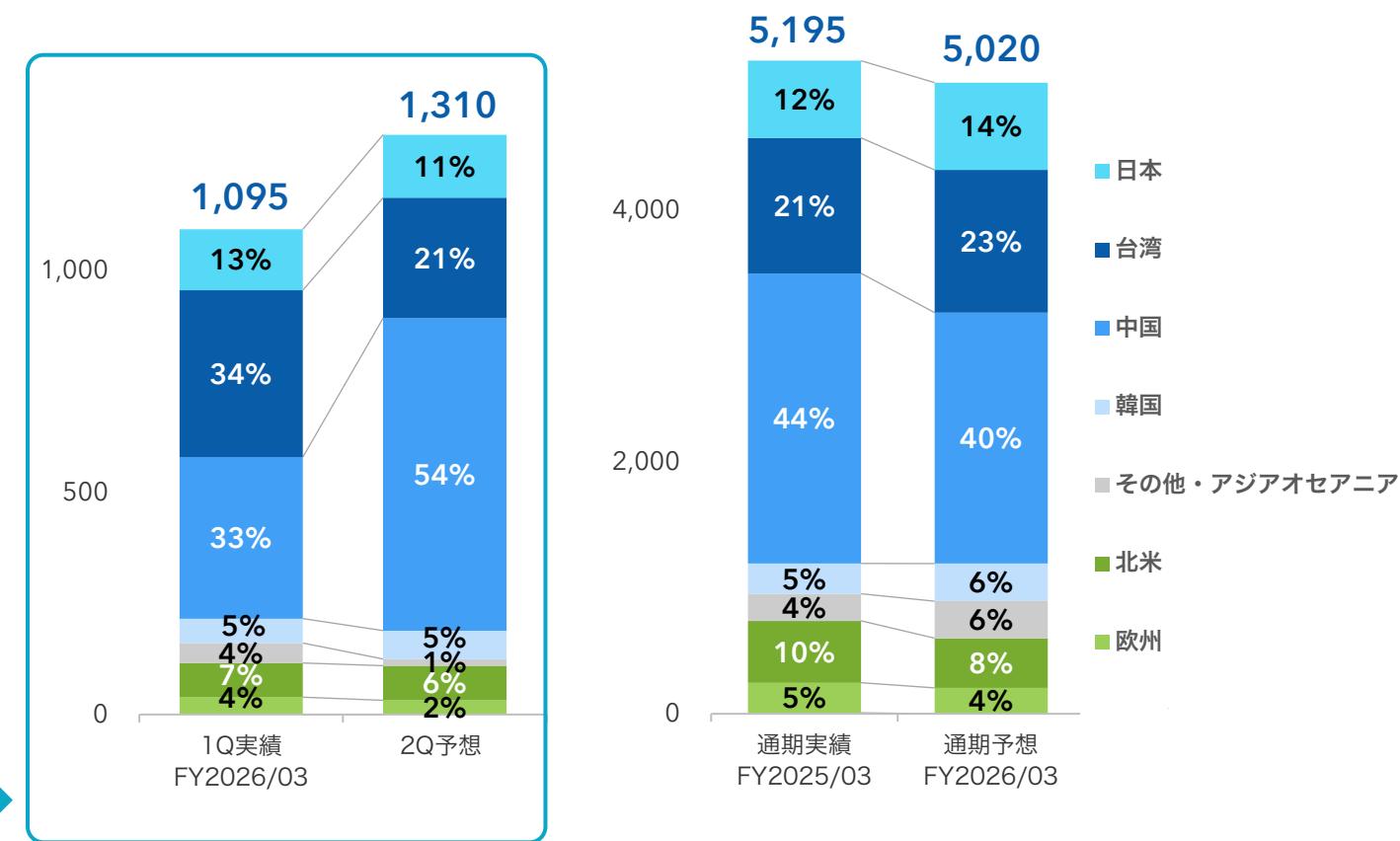
SPE 売上高比率予想 地域別 仕向地ベース

- › 1Q実績 vs 2Q予想：2Qは中国が大きく増加する見込み
- › 上期予想 vs 下期予想：下期は、日本、アジアオセアニア、韓国、北米で増加を予想
- › 前期通期実績 vs 今期通期予想：今期は、台湾、日本、アジアオセアニアで増加を予想

半期 (億円)



通期 (億円)

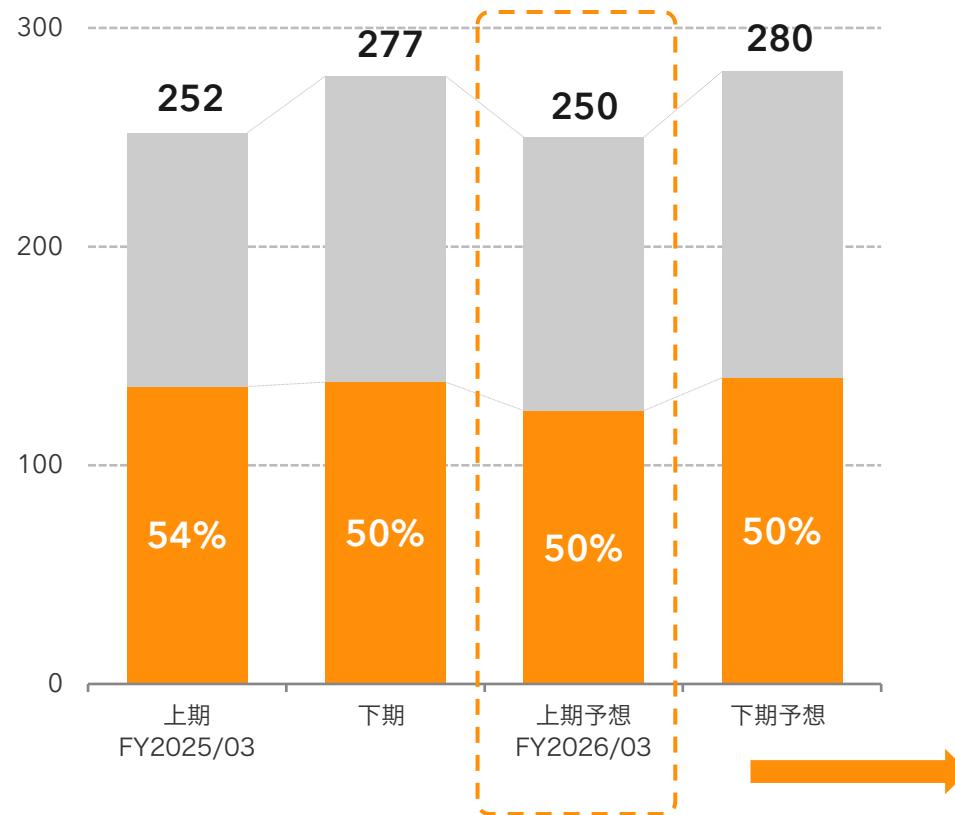


注) 比率は小数点以下を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります

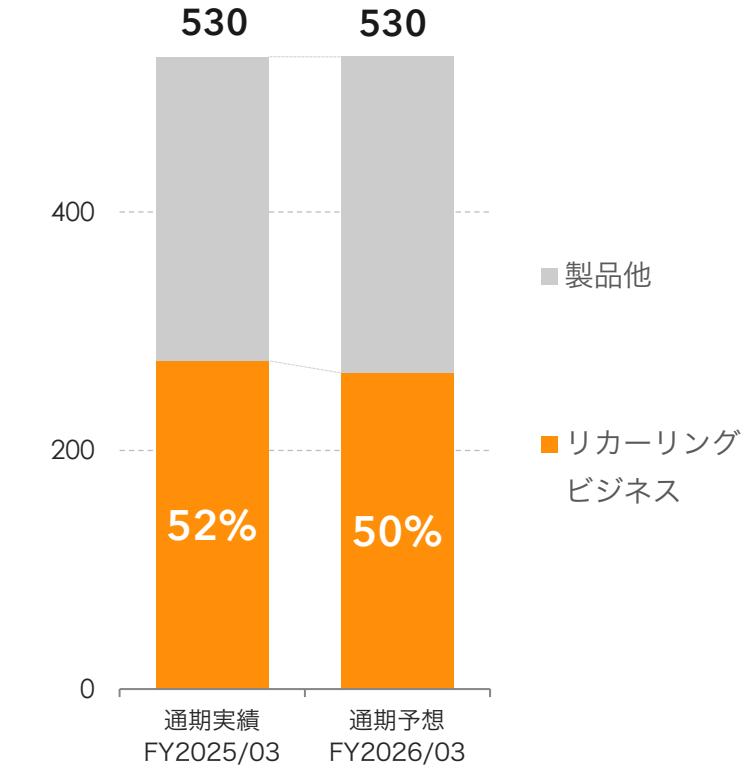
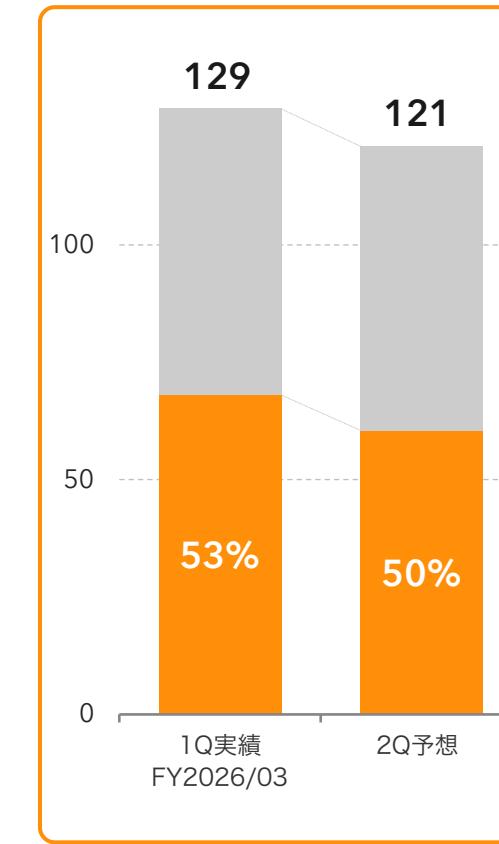
GA 売上高推移

- › リカーリングビジネスは安定推移
- › 米関税政策の影響を受けるも、収益性向上を目指す

半期 (億円)



通期 (億円)

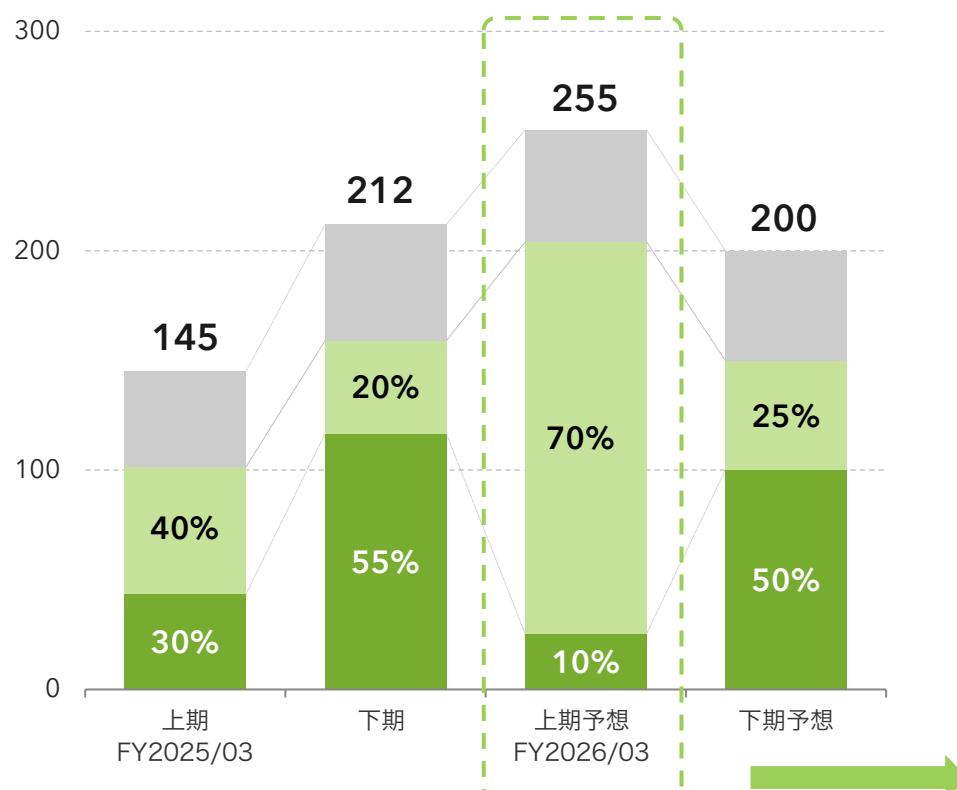


*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

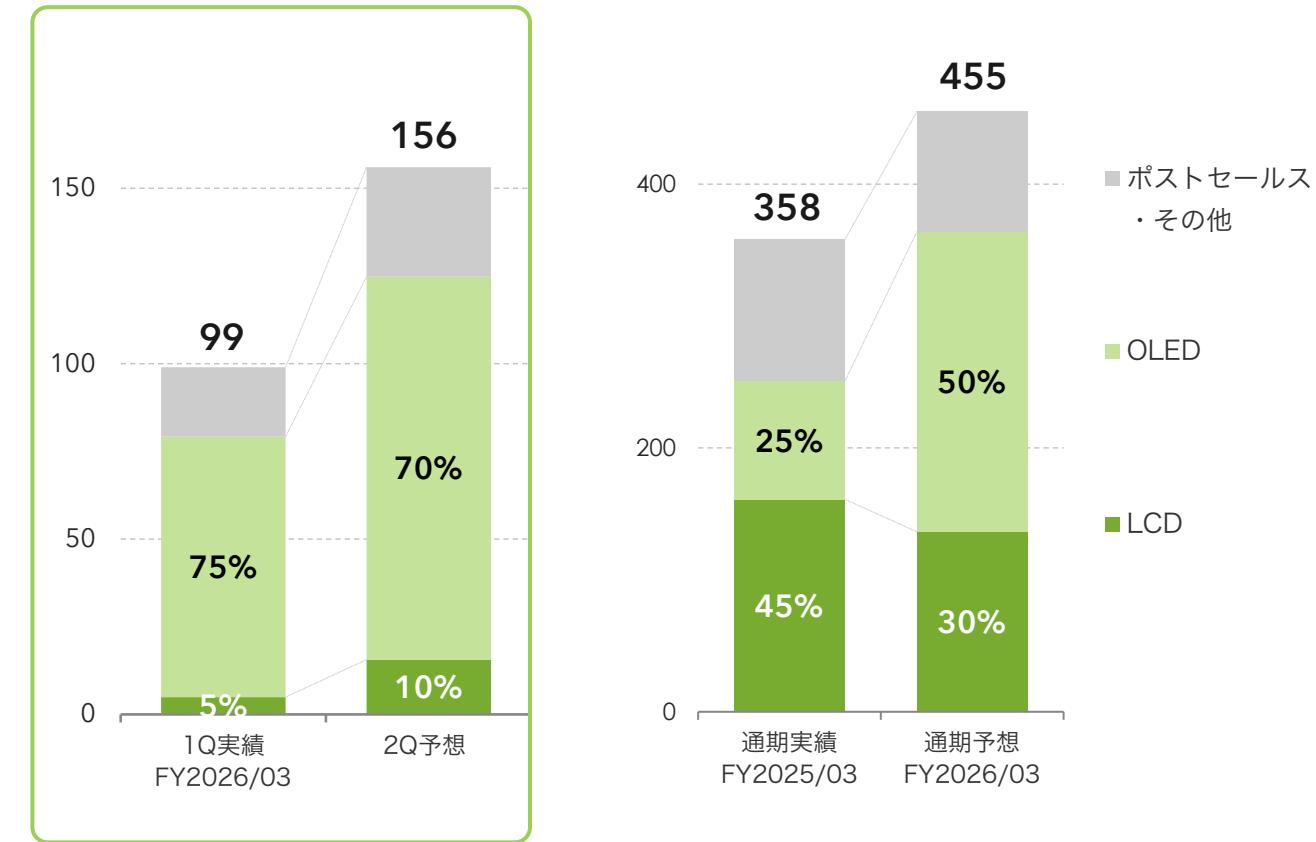
FT 売上高推移

- ディスプレー市場の好転に伴い売上増加基調。今後OLEDを中心となる見通し
- 前期、3期振りの黒字回復を果たし、今期も安定的な売上・利益を見込む

半期 (億円)



通期 (億円)

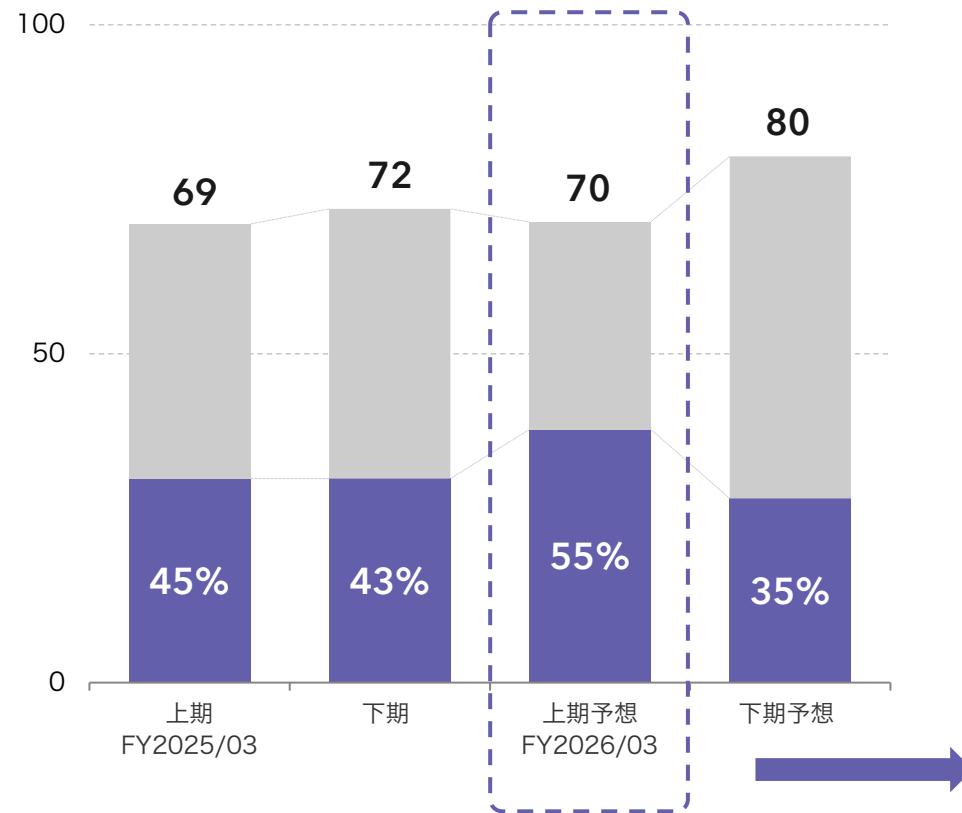


*注) 比率は、5%刻みの「約」表記。FY2024から、エネルギーはその他に含める

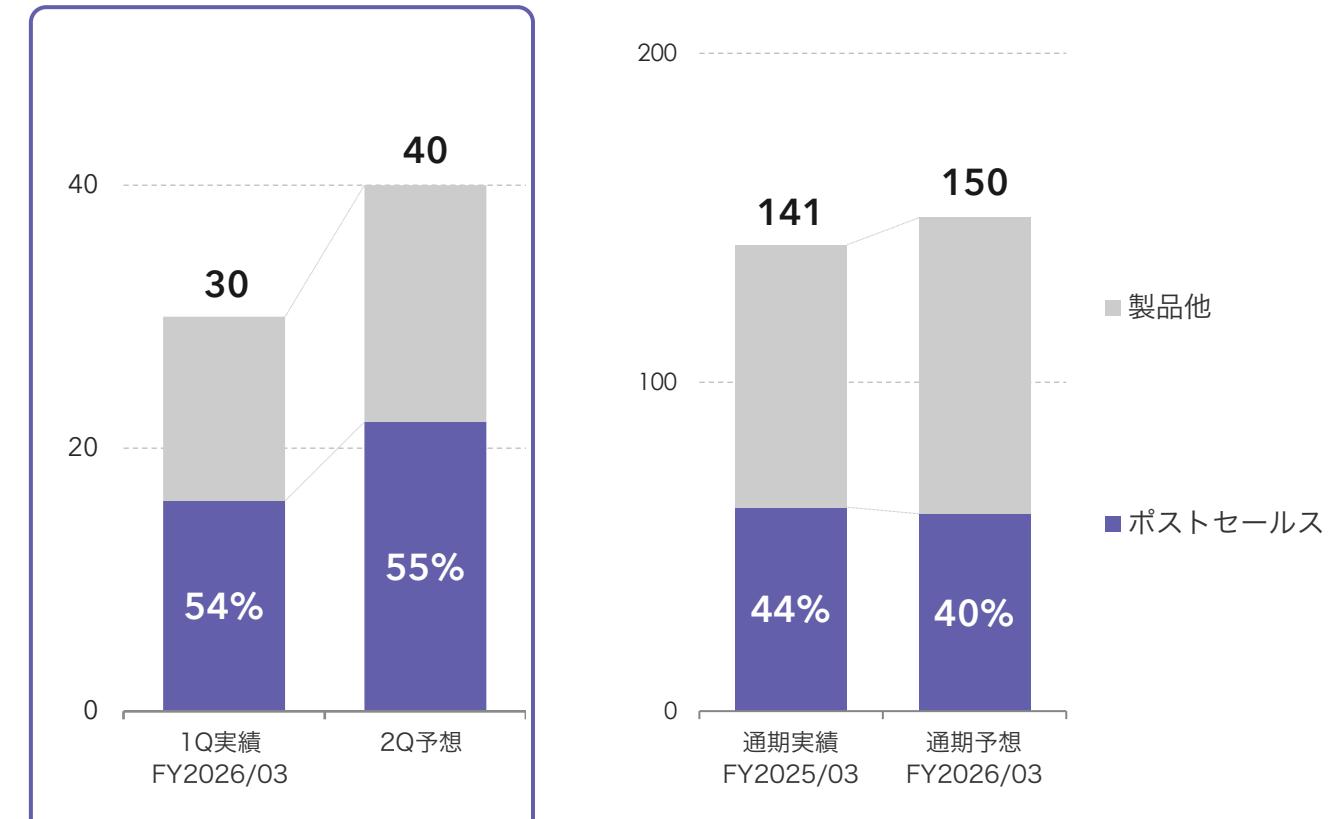
PE 連結売上高推移

- › 基板の微細化を受けたパッケージ向け投資の本格回復は、CY2025年末以降を見込む
- › ポストセールスは引き続き堅調

半期 (億円)



通期 (億円)



*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

自己株式に関する決議概要

(2025年7月25日)



詳細は[こちら](#)（公式WEBページへ）

自己株式の消却

（ご参考）

消却後の発行済株式総数 95,379,986株

消却後の自己株式数 289,224株 *

* 2025年6月30日現在の自己株式数を基準に算出しています。

取締役等を対象とする株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式は含めておりません。

消却する株式の種類	当社普通株式
消却する株式の総数	6,209,746株
消却予定日	2025年8月29日

業績連動型株式報酬制度への追加拠出、第三者割当による自己株式の処分

受託者による当社株式取得

取得する株式の種類	普通株式
株式の取得価額の総額	5,102,808,000円
取得する株式の総数	415,200株
株式の取得時期	2025年8月13日

ESG関連の取り組み

E (環境)

- TCFD文書を年次更新
Scope1・2に関する脱炭素ロードマップを「移行計画」として再定義
2050年カーボンニュートラル達成に向けたGHG排出削減目標、施策、資金調達方法などを示す

G (ガバナンス)

- サステナビリティに関する9つの方針を開示
SCREENグループのCSR憲章に対応する9つの個別方針（環境、人権、労働安全衛生、人材マネジメント、購買、情報開示、社会貢献、コンプライアンス、リスクマネジメント）を開示
国連グローバルコンパクトやRBA行動規範、OECD指針などの国際基準、CSRDやSSBJなどの外部開示要請にも対応

その他

- ESG系インデックス銘柄に選定（継続）
 - ▶当社は、MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数（2024年～）、FTSE4Good Index Series（2004年～）、FTSE Blossom Japan Index（2017年～）、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年～）、SOMPOサステナビリティ・インデックス（2018年～）の構成銘柄

最近のグループニュース (公式サイトより抜粋: 2025年5月10日~2025年7月25日)



詳細は[こちら](#) (公式WEBページへ)

HD

- 約23.7万電極による同時計測・記録が可能なMEAシステムの試験提供を開始
～細胞活動を高精細に可視化し、神経・心臓領域の疾患・創薬研究に貢献～ (2025.6.3)

SPE

- 半導体洗浄装置、累計出荷台数15,000台を突破
～半導体デバイスの微細化・高集積化を支え続けるSCREENの洗浄技術～ (2025.7.1)

PE

- パターン形成用直接描画装置「LUPIOS」を発売 (2025.5.29)



パターン形成用直接描画装置「LUPIOS（ルピオス）」を発売 <2025年5月29日>

(株) SCREEN PE ソリューションズは、ミドルレンジパッケージ基板向け直接描画装置「LUPIOS」を新たに開発。2025年10月から販売を開始

- ソルダーレジスト向け直接描画装置でトップシェアを誇る「Ledia シリーズ」の基本技術を踏襲。当社独自のキャリブレーション機能による高い描画位置精度、新開発の露光ヘッドによる高い生産性を実現
- ハイエンドパッケージ基板向けの「Ledia 8F」（2023年発表）、「Ledia Qs」（2024年発表）と併せ、パッケージ基板用途向けにおいて一貫したソリューションの提供が可能。設備の運用効率の向上に寄与



LUPIOS

- › 成長が続くパッケージ基板市場の多様なニーズに応えることで、同業界のさらなる発展をけん引



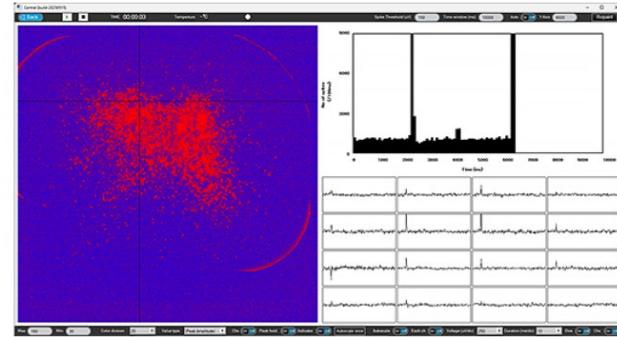
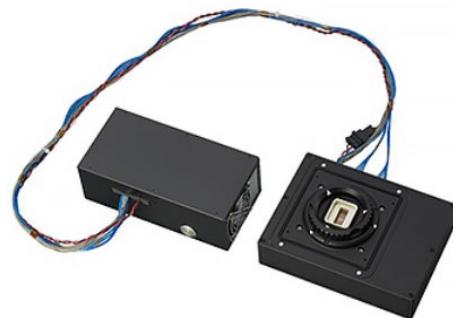
MEAシステムの試験提供開始

～細胞活動を高精細に可視化し、神経・心臓領域の疾患・創薬研究に貢献～ <2025年6月3日>

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社（以下「ソニー」）、株式会社SCREENホールディングス（以下「SCREEN」）、株式会社VitroVo（以下「VitroVo」）は、総電極数約23.7万個の高密度CMOS-MEA*を活用したMEAシステムを共同開発、試験提供を開始

* CMOS-MEA: 相補型金属酸化膜半導体 (Complementary Metal-Oxide-Semiconductor) 技術を応用し、
微小電極アレイ (Microelectrode Array) で細胞の電気活動を検出するデバイス

- 高密度での細胞活動データの計測・記録を実現
- 細胞の活動状況を高精細に可視化、主に神経・心臓の疾患・創薬研究への貢献を目指す



(左：MEAシステムのハードウェア、右：計測アプリケーションのUIイメージ)

- › 試験提供を通じて得られるユーザーからのニーズを踏まえ、システム開発と市場調査を加速
- › CMOS-MEAを活用したMEAシステムの商用化を目指す

Topics

2026年3月期 1Q決算後

当社主催 スモールグループミーティング開催のお知らせ (機関投資家様向け)

- 日程 : 【日本語】 8月20日 (水) 9:30-10:15
9月 1日 (月) 16:30-17:15

【英 語】 8月22日 (金) 9:00- 9:45
9月 2日 (火) 17:00-17:45
- オンライン (Teams) にて開催
詳細は近日中にメールにてご案内予定
- スピーカー :
 - ・執行役員 経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション室長 乙部 千穂
 - ・経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション室 IR部長 三浦 雄一

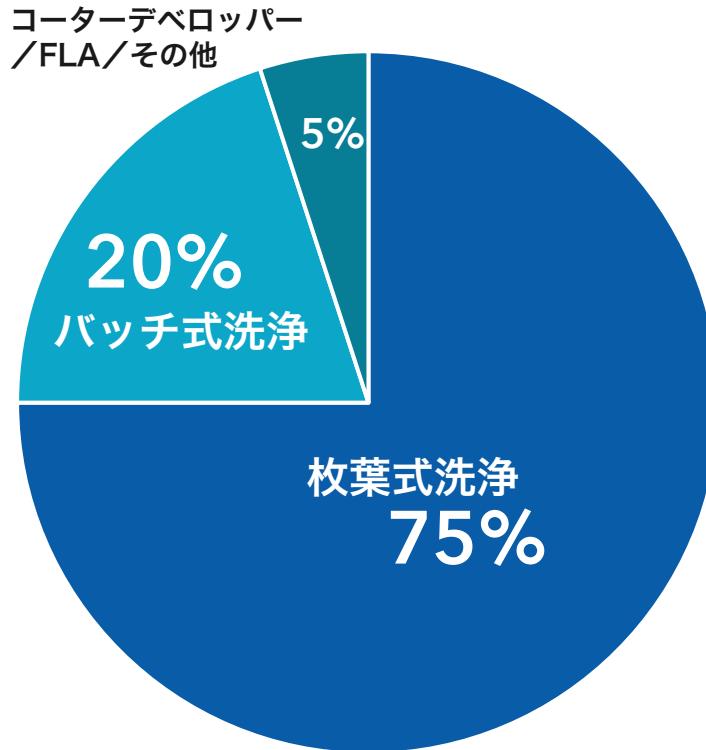
2026年3月期 IR Day 開催のお知らせ (機関投資家・証券アナリスト向け)

- 開催日時 (予定) : 2025年12月16日 (火) 午後
- 開催場所 (予定) : 当社 門前仲町事業所 (東京都江東区) / オンラインのハイブリッド

* 詳細は後日お知らせします

Appendix

製品別売上高比率 - FY2026/03 1Q



	FY2023/03 (%)	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03 1Q
枚葉式洗浄	65	70	80	75
バッチ式洗浄	25	20	15	20
コーダーデベロッパー／ FLA／その他	10	10	5	5

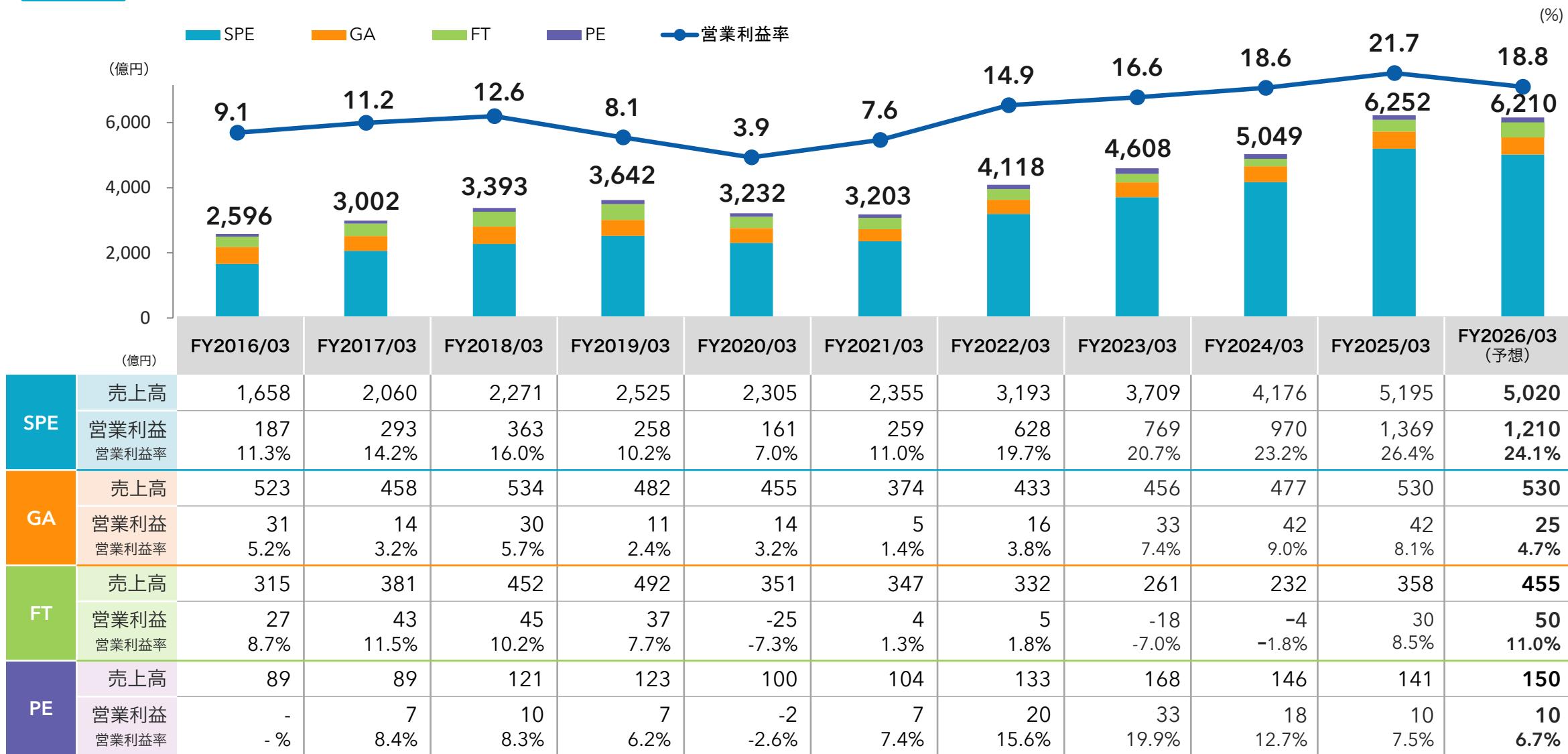
注) 上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix 主要数値の変遷

(億円)	FY2016/03	FY2017/03	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03	FY2025/03	FY2026/03 (予想)
売上高	2,596	3,002	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	5,049	6,252	6,210
営業利益	235	337	427	296	125	244	612	764	941	1,356	1,170
営業利益率 (%)	9.1	11.2	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	18.6	21.7	18.8
総資産	2,700	3,006	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	6,768	6,712	-
自己資本	1,196	1,428	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	3,718	4,206	-
自己資本比率 (%)	44.3	47.5	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	54.9	62.7	-
ROE (%)	16.3	18.4	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	21.0	25.1	-
減価償却費	50	53	57	68	88	96	95	87	108	128	150
設備投資額	63	82	144	240	79	78	134	290	398	297	280
研究開発費	151	177	208	228	215	215	240	247	270	317	380
EPS (円)	198.38	255.98	304.31	193.55	53.69	162.61	488.28	608.16	742.10	1023.54	931.38
配当金 (円)	30.0	43.5	55.0	48.5	15.0	45.0	146.5	182.5	223.5	308.0	280.0

注) 2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を、さらに2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施

Appendix セグメント別業績推移



注1) FY2016/03以前の営業利益・営業利益率は、従来のグラフィックアンドプレシジョンソリューション事業（プリント基板関連機器事業を含む）をグラフィックアーツ機器事業に表示しております

注2) 予想金額は5億円刻みの「約」表記